

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		令和5年度 川島町総合振興計画審議会
開 催 日 時		令和5年11月27日（月）午後1時30分から4時15分
開 催 場 所		川島町役場 中会議室
議 題		（1）川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 （非公開の場合のみ）		
出席者	委 員	鈴木委員、鹿山委員、黒凶委員、丸山委員、石島委員、今井茂夫委員、猪鼻委員、今井敏義委員、小山委員、遠山委員、西村委員、矢田堀委員、町田委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、江間主幹、木村主査
配 布 資 料		会議次第、資料1～5、諮問書
審議会等の内容・概要		
<p>1. 開 会</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. 自己紹介（資料1）</p> <p>4. 町長あいさつ</p> <p>5. 会長あいさつ</p> <p>6. 諮問</p> <p>飯島町長より、川島町総合振興計画審議会西村会長に諮問書を手渡した。</p> <p>7. 議事</p> <p>（事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>会 長：議事録署名委員を指名する。鹿山委員、黒凶委員を指名する。</p>		

(1) 川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

(事務局にて資料3を用いて説明。資料4については、代表事業ごとに説明。資料5については、参考資料として説明は省略。以下意見等があった事業についてのみ記述する。)

(戦略目標1 まもる 重要施策1「災害に備える環境整備」)

委員：防災対策として、協定締結等実施しているが、調書に記載がない。

事務局：担当課と検討する。

(戦略目標1 まもる 主な施策11「自然環境と共生するまちづくり」)

委員：令和3年度と比較して令和4年度の実績が低下しているが、要因はコロナ等による影響か。

事務局：コロナ等の要因もあるが、様々な要因によって評価指標を達成できなかった。

委員：全施策の評価方法に関して、職員が異動になったとしても、評価の仕方が変わらないよう、一定の評価方法を確立していただきたい。また、評価が悪くなった場合の理由を把握し、改善策を検討することにより、PDCAサイクルを回していただきたい。

(戦略目標1 まもる 主な施策13「安心して暮らすための河川の整備」)

委員：川の中の水草が原因で、流れが滞っている箇所が多くあるため、防災の観点からも水草の除去について、定期的実施していただきたい。

また、コロナ禍において、ここ3年程度、全体的に事業が実施できない施策もあったかと思う。コロナ禍前の状態に全て戻すことは難しいと思うが、目標の見直しが必要ではないか。

事務局：水路内の水草に関しては、土地改良区が水の流れを管理しているため、災害対策も踏まえ、水路の浚渫について調整を図る。

評価指標については、全施策をとおして事業概要と評価指標が整合していない調書がある。また、前期基本計画を進めている上で、追加で指標を設定すべき事業もある。そのため、令和8年度からの後期基本計画に向けて、令和6年度から7年度にかけて計画の見直しをする予定である。そこで、評価の見直しについてもあわせて実施する。

委員：評価指標について、満足度を設定している事業があるが、何に対して満足か、不

満足かという結果は、町民アンケートの結果においても出ていない。その点についても、後期基本計画を策定するときに、見直していく必要がある。

(戦略目標 1 まもる 主な施策 16 「安全に通行できる道路の整備」)

委員：幹線道路以外にも、出丸地区のバス停留所付近や出丸橋に抜ける道など、通学時に危険な箇所がある。また、用水路を開渠のままではなく、蓋をしたり、暗渠にしたりすることで、道路を拡幅することもできると思う。昨今、大型車の通行も増加しており、町道の多くで道路拡幅の要望が出ているかと思うので、工夫し事業を実施していただきたい。

事務局：蓋を掛けたり、暗渠にしたりすることで、道路を拡幅することができるため、検討していきたい。また、出丸地区だけでなく、他地区においても要望が多く出ているため、優先順位を見極めたうえで、子どもの安全、安心を踏まえ、順次、道路整備を実施していきたい。

(戦略目標 1 まもる 主な施策 17 「持続可能な公共交通網の形成」)

委員：地域公共交通会議の委員にはどのような方が委嘱されているか。また、どのような形で地域公共交通施策に取り組んでいるか。

事務局：委員は18人で、東武バスウエスト(株)、(有)川島タクシー、(一社)埼玉県バス協会、(一社)埼玉県乗用自動車協会、東武バス労働組合、関東運輸局、埼玉県、東松山県土整備事務所、東松山警察署、イーグルバス、埼玉大学大学院から選出された方により構成されている。

昨年度、地域公共交通計画を策定し、計画に基づいて、公共交通に関する各種施策に取り組んでいる。今年度は8月に会議を開催し、かわみんタクシーの運行方法や、学生への支援策について検討した。

委員：調書において、かわみんタクシーの運行の掲載しかないが、その他の交通手段の施策も検討しているのか。

事務局：かわみんタクシーだけでなく、路線バス、タクシー、その他の交通手段に対する施策も検討している。以前は、町内巡回バスの運行を実施しており、公共交通の全体的な施策を、地域公共交通会議で検討している。

委員：住みよさ町民満足度について、公共交通は大きな関係があると思う。公共交通問題が解決できないと、評価が上がらないと思うので、タクシーだけでなく、ライドシェア等についても、検討していただきたい。交通の便が悪いと、住みづらく

なるため、よく検討していただきたい。

事務局：住みよさ満足度については、公共交通の満足度と大きく関係している。また、川島町は東と西とで交通状況が大きく違うため、川島町全体を見て、公共交通施策について検討していく。

(戦略目標2 つなぐ 重要施策2 「新しい自治体コミュニケーションの推進」)

委員：未来塾の応募方法について、検討していただきたい。

事務局：公募の方法は、広報、町ホームページ等での周知、また、TJUP と呼ばれる東武東上線沿線上の大学の学生に声掛けをしている。塾生は、昨年度27人、今年度18人で、今年度は昨年度より応募が少ない状況。募集方法、対象について、よりよい方法を検討する。

委員：募集の仕方で、指名制でやることについて検討していただきたい。

事務局：検討する。

(戦略目標2 つなぐ 主な施策1 「多文化共生社会の推進」)

委員：どのような事業を検討しているか。

事務局：町民会館での日本語教室やひな祭りでの交流イベント等を検討している。

委員：現在、実施している事業は、日本語を外国人に教える日本語講座が中心となっている。逆に、小、中学生で英語に興味がある子どもが、外国人と交流できる事業を検討していただきたい。

事務局：子どもから外国人へは日本語を、外国人から子どもへは英語を教えあいながら交流することで、相互に学習ができる。また、地域コミュニティを形成できるきっかけになると思う。担当課に事業の検討を依頼する。

(戦略目標2 つなぐ 主な施策5 「新しいつながりの創出」)

委員：評価指標が件数となっているが、自主財源の確保として、寄附金額も設定すべきである。

事務局：検討する。

委員：ふるさと納税の返礼品について、サイト毎に偏りがある。サイト毎の閲覧者の層により、寄附が左右されるため、返礼品のサイト毎の掲載について、検討していただきたい。

事務局：川島町においても、ふるさとチョイス、楽天、さとふる等、様々なサイトにおいてふるさと納税の寄附を募っている。ご指摘のとおり、サイト毎に掲載している

返礼品が異なっており、今後、検討を重ね事業を実施していく。ただし、事業者ごとに、登録サイトの協力を得られない場合もある。また、全国的に人気な海産物や肉、お酒などの商材が川島町には無いため、返礼品の開発も見据えて、事業を検討していく。

委員：ふるさと納税については、町だけでなく、町の事業者も含めた町全体で取り組んでいく必要がある。

事務局：町、さまちか、事業者と連携し、事業検討をしていく。

(戦略目標 2 つなぐ 主な施策 6 「文化財の保護・活用及び伝統文化の継承」)

委員：目標が「開館」であるが、実績が「開設準備」となっており、評価が「A」となっている。なぜA評価なのか。A評価とするのであれば、「開設準備完了」等に改めるべきではないか。

事務局：担当課に確認し、対応する。

(戦略目標 3 つくる 重要施策 1 「川島インターチェンジ周辺整備の推進」)

委員：川島インターチェンジ周辺整備については、どのような計画か。

事務局：詳細については未定だが、商業系の立地は規制によりできないため、工業系の計画で進んでいる。

委員：川越に来る観光客を少しでも川島町に呼び込むことができるよう検討していただきたい。

(戦略目標 4 そだてる 重要施策 1 「夢を育む新たな学校づくり」)

事務局：目標が「専門部署の設置」であるが、実績が「協議・研究」となっており、評価が「A」となっている。整合性が取れていないため、担当課に確認し、対応する。

(戦略目標 4 そだてる 主な施策 1 「新たな生涯学習の推進体制構築」)

委員：総合型地域スポーツクラブについて、自主運営を目指すとしているが、いつ頃を目標としているか。

事務局：継続的に補助をする計画になっているが、最終的には、自立を目指して事業を進める。しかし、現在の所、いつ自立できるかは明確になっていない。町においても自立に向けた支援方法について検討する。

(戦略目標 4 そだてる 主な施策 2 「生きる力を育む学校教育の推進」)

委員：実績の「中学2、3年生英検4級以上取得率」が31%は少ない。原因の1つとして、塾に通っている子どもが少なくなっていると思う。また、英検対策として

実施している事業で、「ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施」とあるが、英検受験前に1度しか実施していないため、効果が薄い。そのため、受験率も下がっているのではないか。

事務局：英検については、町で2回実施しており、内1回分の受験料を補助している。

また、英検受験前に私塾の講師を呼んで、英検ガイダンスを実施している。ただし、ご指摘のとおり、受験前の1回のみとなっているため、回数を増とするか検討するとともに、取得率を上げるため、事業内容についても担当課と検討する。加えて、就学援助対象者の方に通塾支援事業を実施しており、並行して、事業検討する。

また、受験する際に、能力に見合った適正な受験級を受けていない生徒も見受けられるとのこと。今後も引き続き、学校と教育委員会で連携し事業を進める。

(全体をとおしての意見等)

(戦略目標1 まもる 主な施策14 「住みやすいまちづくり」について)

事務局：町で重点的に事業を実施している空き家対策について、追加で調書を作成したい。

また、令和8年度から後期基本計画となるため、来年度から計画策定の準備を進めていくが、その間、次年度以降も町の重点施策として、追加で事業を実施する際は、調書を追加する形で進行管理してよいか伺いたい。

委員：承諾。

委員：川島町は家の建築において規制が強いため、柔軟に対応していただきたい。

(防災について)

委員：学校等に水害時の水位標示があるが、国や県からの通達があって実施しているのか。標示があることで、対外的に印象が悪く、「住みよさ町民満足度」が上がらないように感じる。標示を外すことを検討していただきたい。

また、どの程度の規模の災害になったら、標示までの水位になるか、住民説明が足りない。

事務局：各学校に堤防決壊時の水位標示がある。国、県からの指示で掲示しているかは、確認する。また、掲示の理由として、防災意識を高めることを1つの目的としている。堤防決壊時に、水位がどこまでいくのか確認できることにより、防災意識を高める狙いがある。また、町の防災対策として、水害時に町外避難をするように働きかけている。しかし、避難できない方のために高台整備事業もあわせて進

めている。

標示があることにより、満足度が下がるという意見もあるかと思うが、防災の意識付けということでご理解いただきたい。

また、どの程度の災害で、水位がどこまでになるか、住民の方に浸透していないため、担当課と防災意識の強化や災害対応について引き続き検討し、住民の方に分かるよう示していく。

委員：工業団地においても、参入するにあたり、水害のリスクはあるということを念頭に置いている。異常気象の中で、どのように災害を防ぐか真剣に考える必要がある。国、県、町それぞれの役割に応じ、安全なまちづくりをしていただきたい。

事務局：委員の皆さまにいただいた意見を基に、会長と事務局とで調整の上、町長に答申し、委員の皆様にも答申をご報告するという手順で進めていきたいと思うが、ご了承いただきたい。

委員：異論なし。

8. 閉会

署 名	鹿山日出男
	黒岡光男